

宝物はすぐそばに

校内研通信

第11号

R7.9.1

発行者:校内研担当 仲村智

3個のケーキを2人で平等に分けるのは大変なんです

9月1日(月)5校時、2学期のトップバッターとして3年7組にて新里健司先生が数学の授業を公開しました。本時のねらいは2次方程式を完全平方の形に変形して解けるようになることです。前時で x の係数が偶数のパターン、本時が奇数のパターンと指導書によっては1時間分の内容を生徒の実態も考慮し、時間をかけて丁寧に指導していました。ロイロノートを活用しての復習やヒントの引用、本時の課題における個人→グループ→教師の個別支援→ポイントをおさえた全体共有と、流れるような授業展開で生徒も最後まで課題に真摯に向き合い、前時よりレベルの上がった問題を解けた喜びが学級中を包みました。また、板書がとても整理されており生徒にとって「復習しやすいノート」になることを意識した板書計画をされていると感じました。健司先生、素敵な授業をありがとうございました。個人的には今まで見てきた数学教師の中で字の綺麗さは過去一です😊



南風原町学力向上推進委員会 かすりっ子「学ぶ」プロジェクト

【RSの視点を意識した6つの授業改善のPoint!】より

【Point4】ノートに残す板書を構築する！

- ☐ 授業を通して学んだことを板書し、子供のノートに記録させているか？
- ☐ 後で子どもがノートを見返した時に、意味が通じるか？(主語・述語・指示語)
- ☐ 教科書の定義文は、教科書のとおり板書しているか？

※ 定義…ある物や事柄をこういうものであると端的に伝えるための説明のこと



○授業を通して学んだことをノートに記録させるための板書を構築する。ノートの記録があることで家庭での学習につながり、自分で学習する際に活用することができるようにする。
○定義などを板書する際、教師が解釈して板書するのではなく、教科書のとおりに板書する。